

# まつかぜ

平和学園小学校  
同窓会連絡誌

〒〒市富士見町5-2  
電話 0467(82)0093

機関紙「まつかぜ」を通じ今年も同窓会の皆様とお会いできるのを嬉しく思います。五月十五日の学園同窓会には多数の同窓生がご出席くださり、母校を愛してくださる気持ちにふれ感謝しております。

校との印象を与え、あるお母さんから「この学校に入学させたのは美しい花がいつも咲いているからなの。先生方の心がわかります。」といわれ嬉しく思っています。人は外を見るが神は心の内を見られます。学校の

## 校長としてただ今二年生

小学校長 笠野 欣二

校長としてただ今二年生、昨年と違って心にゆとりをもって学校経営にあたるようにになりました。校門を入ればその学校の半分以上はわかると言われます。平和学園の校門の石段を上ると、塗装された白垂の校舎、緑の芝生、四季の花が咲き乱れる整備された花壇、土手の芝生の花壇は道行く人に美しい学

内容の充実が必要で、今年度は信頼される学校を重点目標に、信頼される学級づくり、生活指導の徹底、進路指導等の充実の三点に力を入れます。私学平和学園に期待をよせてお子様を託されたご両

親の期待に答える教育を生方と真剣にとり組んでいます。最後に昨年十六名の卒業生を送り出し、新一年生現在十九名の入学児を迎えることが出来ました。転入学児童も増加し、現在一〇七名の児童数で昨年より十名近く増加しています。昨年児童募集への協力ご依頼に答えてくださった皆様のお力によるもので改めて感謝申し上げます。今年も間もなく十月の児童募集期を迎えますので、皆様は平和学園に学ばれた期待と誇りを、そのまま皆様のお子様にも、また友人知人に学園のご紹介いただきます。母校の発展のため今年度の児童募集に対して格別のご協力をお願い致します。私学として皆様の期待にこたえるよう努力致します。

折にふれご来校くださいますようお願いいたします。久しぶりて同窓会の名簿ができました。一部五百円でおわけしていますので、各クラスの委員又は学校へ直接申しこんでください。作成については会長はじめ役員及び各クラス委員の皆さんの大変な労苦によっています。又、実際に作成する仕事は、副会長の大林俊雄君が自分の会社の機能をフルに使ってやってくれました。その大林君の話によりまして、こんどの名簿は全部コンピュータに記憶させているんだそうです。名簿にはでていませんが卒業生の全部にコード番号がついています。例えば昭和二十七年第三十五回生、天笠紀栄子さんのコード番号は273500で次の青井紀子さんは273501です。このコード番号の内容は27年卒、35回生、クラスの00番ということです。あと

## 同窓会名簿

は必要事項をインプットすればよいのですが、住所の場合は郵便番号をインプットすれば住所はコンピュータが記憶しています。内容を修正する場合はコード番号によりその内容呼び出し必要な部分を修正します。といったわけで皆さんの名前は半永久的に保存されまじ、結婚したり住所が変わったりした場合連絡して下さい。但し、小学校時代の成績はインプットしませんからご安心下さい。名簿をごらん下さい。わかると思いますが、住所不明の方がかなりありますし、先生方がよくわからないのです。この際ご存知の方はぜひ知らせ下さい。おしまいについている広告の欄も大変面白いです。皆さんのお知恵を拝借して、楽しい名簿に行きましよう。

### お久しぶりノ 盛会だった 全学園同窓会

32年卒 和田扶美子

五月十五日(日)、快晴のうちに第一回の小・中・高合同の同窓会が開催されました。

創立三十七年を迎えた現在、学園も高校生だけで千人を越えています。卒業生が毎年三百余りとなると、同窓会もまた一つの過渡期を迎えたのかもしれない。小学校同窓会、中高同窓会と別々の活動をするだけではなく、このへんで一緒に総会をやってみるのもどうだろうとの幹事の話しあいのうちに実現したものです。

中高の方も、なんとか名簿を作成しました。また小学校も、この日を目標に二十七年卒の大林さんの仕事のおじゃまをしてまでも、名簿の整理、作成に汗を流しました。

幹事の仕事場や、いきつけの場所を会場にして、何度か幹事会(世話人会)をしながらの準備でした。

学園を会場にどの程度の人数が集まるのか、予測もできないうちに三千枚の案内を出し、当日はなんと、五百余人という大盛況であったわけです。

九十才というのに葛生先生はカクシヤクとして、迎える車などいらぬとの事でありましたし、遠くフィランドからは、柳田先生も出席してください、昔なつかしい先生方のお顔は大変うれい事でした。

受付は、小・中・高となると整理が困難で、頭を痛めた所でしたが、型にはまらないで、残り少なくなつた松林を受付会場にしたのは、思いもかけず楽しい語らいの場を提供したように思います。

暑い日射しをさけて、子ども時代にかえてのおしゅべりは、「式典のため記念講堂へ」という世話人の

声などとても耳に入らないほどでした。

久しぶりの讚美歌「……

ああ平和よ、くしき平和よ……」と歌い、「平和をつくりだす人たちは幸いである」との、何度も耳にして育ってきた聖句を聞き、二つの校歌斉唱は、すっかり学生時代にもどつたのではないでしようか。ただ式典というのに、おしゅべりが多すぎて来賓の方には大変失礼をしたようです。

旧職員、現職員の紹介、今年小学校を卒業した最年少の同窓生より花束のプレゼントなど、ほほえましい平和ならではの場面もいくつかありました。

式典の後の懇親会は、中高会長の中山さんの援助で軽食とお菓子が準備され、それぞれのクラスに分かれての行動でした。なつかしい先生方を真中に写真をとったり、上級生、下級生のあいさつなどと、体育館は真夏のようにムンムンとした人いきれとなりました。

二次会、三次会と、一日ふんだんに楽しんだクラスもありました。

不十分な所は多々ありましたが、とにかく好天に恵まれ、事故もなく、なごやかに、ほのぼのとした一日はよかったです。この会のために、実に沢山の方々が目立たない所で働いてくださいました。本当にありがとうございます。

この会が次の第一歩となり、さらによいものと発展していくことを祈ります。

### 「ひとこと」

#### 総会出席者の声

昭和三十五年、小中高校を過ぎた学園を卒業して以来初めての同窓会でした。

早大での四年間、仕事をしていた間、そして結婚し、オランダのアムステルダムで暮らした十年間。思い出の沢山詰った箱を開ける術を忘れていました、同期の方が何人出席か期待と半ば不安でしたが、小中高合わせ

て三十名ほどの方々にお会いでき、お元氣な先生方にお目にかかれ感激と興奮の一日でした。箱を開けて下さった幹事の皆様本当にありがとうございます。学園と同窓会の益々の御発展をお祈りしております。

29年卒 小国南枝

五月十五日は、久しぶりに小中高と全体の同窓会で、なつかしい先輩の顔が見られ、当時の時代に戻った気分で、とても楽しいひとときでした。準備して下さった委員の方々が難うございました。私にとつては一番思い出多い学園で、又次回の開催を心待ちにしております。

33年卒 米山悦子

久方振りになつかしい先生方にもお会いでき、本当に何十年も前の世界にひき戻されました。「○○ちゃんノ」なんて、みんな幼い頃の名でよびあえる楽しいひとときでした。私は小学

校時代しかお世話にならない  
 だったので、同級生がひじ  
 ように少なかったもので、上  
 下級のなつかしい顔にも会  
 い、クラス会では味わえな  
 いなつかしさもひとしおで  
 した。 36年卒 吉田真祈子

なつかしい松林の中、小  
 学校を出て17年ぶりという  
 友もいた。

5月15日の同窓会にそなえ  
 一人一人電話で連絡し、会  
 いたいねと約束したものの  
 何人来てくれるか当日まで  
 不安が胸をかすめる。緑色  
 のリボンを胸に受付に立っ  
 ているとまずW君が、「わ  
 あ、変ってないわね、えっ  
 まだ一人なの」と等と話して  
 いると、向こうの方から手  
 を振りながらMちゃんか  
 OさんがそしてM君が、先  
 輩、後輩のなつかしい顔も  
 見える。お互いに顔を見合  
 せ名前がでず「なつかしい  
 わね、えーとえーと」とく  
 り返す。我クラスは13名集  
 まり、ものの5分話してい  
 れば時は小学校に逆戻り。

平和学園同窓会

22年卒 家田憲治

平和の友達はいつ会って  
 も心がなごむすてきな仲間  
 平和に入学させてくれた親  
 に改めて感謝したい。  
 又お会いしましょうね。  
 大好きな平和っ子！  
 甘露寺由起子

幼馴染というものは不思  
 議なものです。その内でも  
 平和学園時代の仲間という  
 ものは特に変なものです。三  
 十数年振りに逢っても、す  
 ぐ昨日迄一緒に遊んでいた  
 気分になって、他愛もない  
 事を云い合って喜んでいて  
 のです。社会に戻れば厳し  
 い社長さんであり、教授で  
 あり、PTAのウルサ方の  
 オバサンであるのに、まる  
 で小学生に戻ったみたいだ。  
 この間、五月の十七日  
 ですが、幹事さんの大変な御  
 努力によって開催された平  
 和学園の同窓会に出席させ  
 て戴きました。銀座や新宿  
 ですれ違っても、博多の街

で出くわしても解らない程  
 お互に頭が禿げ上っていた  
 り、老眼鏡を鼻に引掛けた  
 りして様子がすっかり変っ  
 ている。辻堂の駅から平  
 和行のバスに乗り、仲間は  
 いるかな という目で見  
 と「アッ、あの人は一級上  
 の〇〇さん、あれは二級下  
 の△△君」という様にオジ  
 サン、オバサンの顔に幼い  
 頃の面影が二重写しとなり  
 すぐに想い出すのです。  
 容姿が変わっていても子供  
 の頃の仕草、クセは年を取  
 っても直らぬものと見えて、  
 全く昔の俣で可笑しい程で  
 す。いつもズボンのベルト  
 を持ってずり上げている人  
 髪の毛にすぐ手を当てる人  
 話す時に鼻をこする人等々。  
 辻堂の駅前も平和学園迄  
 の道筋もすっかり変ってし  
 まって、昔の記憶を呼び覚  
 すものは何もありませんが  
 学園の中に入ると噴水池も  
 始業・終業を知らせる本館  
 前の鐘も、礼拝や、クリス  
 マス等が集まった講堂も、  
 泳いでも泳いでも向う岸に

自分達が平和で学んだ頃の  
 年令をはるかに越えている  
 事に気付いたり、アノ人に  
 もう孫が居る事を知り愕然  
 としたりするので。  
 夫々の年代で多くの友人  
 が出来ましたが、一番クッ  
 タク無く附合えるのは平和  
 時代の友人です。初老の紳  
 士もこの場では「狸公」で  
 あり「夏ミカン」であり、  
 「ウサギ」であり「オジイ  
 チャン」であり「ピンポン」  
 です。PTAで活躍中の猛  
 婦人も「マア公」であり、  
 「近デブ」であり「ボンサン」  
 なのです。そして私は死ぬ迄  
 「ダニ公」で過すのです。

美しい日本

28年卒 加藤信行

美歌、聖書の段になると今  
 流行のカラオケはまるで駄  
 目なのに歌えるのです。三  
 十年振りで節も歌詞もすっ  
 かり忘れていたのに「平和  
 よ！平和よ！ 御神の賜え  
 る美しき平和よ！」と、  
 懇親会で幾つもの輪が出  
 来、自分達の子供の年令が、  
 籍は？」と聞かれ、嫌でも  
 日本は美しい。外国  
 に行くと生活するまで「日  
 本の国」の事は考えたこと  
 がなかった。あまり身近で、  
 当たり前過ぎて考えるテーマ  
 にならなかつたのだ。しか  
 し、外国へ行くと「君の国

自分が、日本人である事を意識させられるし、「日本はどんな国ですか。」と質問されるので、自分の国の事を考えさせられる。

砂漠で生活したときは日本の水と緑の豊かさに恵まれていた事を痛感したことはない。一年、三百六十五日の間に何と雨の降る日は五本の指で足りてしまう日数しか降らず、しかも一回の雨とは日本では想像の出来ないほどの少量、「パラパラ」と表現した方が良い。雨などと言えたものではないのだが、彼等には恵みの雨なのである。このパラパラの雨が降ると砂漠の子供達は、テントから飛び出して「雨だ雨だ」と喜んで飛び回るのだ。お風呂などには、生れた時と、結婚式の時、死ぬ時の三度くらいなもの、水浴びもままならぬ砂漠では、正に恵みの雨なのである。

そして大地は、数日にして薄い緑色に成り、草が芽を出す、何日かたつと花が

咲き、実を結んで種が地に落ち、次の年の雨を待つのである。この生命の不思議は、実際に体験してみなければ理解出来ないほど深い感動を与えるのだ。こんな話をすると日本人は、シントリ雨に濡れた真緑な芝生の様な緑を想像するし、雨の後の花が咲く野原は、レングの花の様に咲き乱れた所を思い浮べるようだ。子供に山の絵を画かせると、日本の子供は緑色に、砂漠の子供は茶色に画く生活環境の差がある。大人達はこの事を良く考え、子供達にもっと美しい国を残してやるようにしてやりたい。

我家の新人

33年卒 東根福子

何か書くようにと、原稿用紙が送られてきました。学生から直ちに、家庭の主婦に収まってしまった者には、大変な難問です。一生懸命に知恵をしぼっている中に、切問近となつて

しまいました。そこで、最近の私にとって最も身近な出来事を記す事にします。

結婚以来十五年、五年目に恵まれた女の子を、可愛い可愛いと、親子ベッタリで育てて十年たちました。親の知らない間に、随分親離れしてきました。家

の中では一人子の甘えん坊も、外に出ますと結構一人で頑張っていて、思わず「やるな」と感心してみたり、ちよっと寂しく思ったりしているこの頃でした。ところが突然、全く突然にもう一人授かったのです。十年も一人子でしたので、もう諦めていた時です。私にとって、神様のお恵みとしか考えられませんでした。高

年令でしかも間が十年もあいているというので、以前に増して期待と不安の毎日でした。予定日より三週間近く早く生れた赤坊は、二千三百グラムの男の子でした。耳に一段と大きく響いてきた「オギアア」の産声に思わず涙してしまいま

した。本当によく無事に生まれてきたという思いから、その産声は、神様を讃えているような気がしたので、ただただ「ありがとうございました。」という気持ち一杯でした。

お腹の中に宿った小さな命が、次次第に人間の形になっていき、小さくても呼吸ができるようになり、ちゃんとお乳も飲めるようになるなんて、科学の進んだ今日でも、神秘としか考えられない、神様の力でなくて何なのでしょう。パンパンに張ってくる乳房も、小さな口で懸命に吸い始めると、みる間にやわらかく楽になってくる。自然の力

で素晴しいなと思いつつ、我子の顔をしみじみ眺めて授乳を楽しみました。小さくて夜中にも何度も起きて飲ませなくてはならず、ろくに寝ないで過ごした一ヶ月でした。でも、どんどん大きくなる赤坊に、元気で良かったし、もう一度この

やわらかな肌を抱きしめる事ができてしみじみ幸せでした。

子育ても、忘れていた事を思い出し、少し余裕ができてきました。今まで、自分の望む型にはめようと、随分イライラして子供をしかって来たけれども、こんな生れたての赤坊にも、十分な意志と感情が備っているのだと気がつきました。今までは、自分の子と思い、自分が育てるつもりでおりました。が、息子の誕生の経緯からも、本当に赤坊は授り物で自分の私物ではなく、神様から預っているにすぎないのだと感じました。以来、六ヶ月、赤坊は日増に大きくなり、よく笑い、寝返りをうつ、その成長の一つ一つに、人間の力をこえた大きな力を感じずには

いられません。こうして我家の新人は、日々家族に喜びと和をもたらし、大きくなって参ります。



町の顔

38年卒 岩倉具司

仕事で地方都市に泊る事がある。札幌とか仙台とか広島とか、まあ大きい部類の町だ。それぞれの町には、やっぱり好き嫌いはある。好きな町ばかりに行くと言わねば、嫌いな町に月に何度か、なんどもという時は、ささか愛鬱になったりする。でもまあ出かけるからには愛鬱にならばかりいでも仕方が無いわけだから、「いやいや、嫌いな町にも好きなものはある」と決めつけ、暇を見つけてはせつせと、町中或いは周辺をバスに乗ったり歩いたりして偵察してみる。そんな町でも歩けばそれなりに楽しい。公園、官庁街、図書館、学校、下町、どれを取ってもそれぞれ施設の設けや町並が、その町特有の顔を持って僕の前に現われて来る。結構楽しめるものなのだ。たまにはつまらない没個性型の物も出

てきたりするけど、全部の町でそうだという事も無い。町全体の好き嫌いとはともかくとしても、そうした部分的な所での色んな顔が私を楽しませてくれているわけだ。「この角を曲がると今度はどんな顔が出て来るかな」ところがしかし、どここの町へ行っても一向に変わりは見えのしない、つまらない物が一つある。駅だ。国鉄の駅とその上の駅ビル。あれ程無個性な物も他に無いと思う。外見、店内の雰囲気、そして売っている品物まで似たりよったりなのだ。いくら駅としての機能がどうさせるとしてもだ、もう少し考え様があるんじゃないかと思ったりする。

その無個性の奴が最近茅ヶ崎にも出さそうだと云うじゃないですか。今のその素朴な佇まいの茅ヶ崎駅を、(近くからだ後からくっ付けたひさしで、その全体の形は良く見え無いが、ちと離れて見ると、仲々かわいらしい建物なのだ)潰して、平塚にも藤沢にも日本全国、津々浦々にゴマンと有る(ちと大袈裟かな)のと同じ様な物を作るらしい。さびしい発想です。

「どうせ作るなら他に類を見ない様な、茅ヶ崎の顔にもなる様なのを作ればいいの。駅の上を土で覆って駅上公園にして、ノイデ、タブ、ヤブコウジ、スダジイを植えて。プラントフォームに居る人達には、青々と繁った木々の木洩れ日が……茅ヶ崎の顔になると思いませんか。」

思えば、図書館も市役所も皆ほとんど、没個性型、役人発想型の物に変わってしまおう。茅ヶ崎の町から茅ヶ崎の顔がどんどん消えていく。「いやあ、ついに出来たな」って思うより、なんだおい、又無くなっちゃったなあ」って思う事の方が多いみたいです。我母校にもきつといつか、大々的な改築などの必要性が説かれる時が来ると思いません。そんな時には、是非、

つまらない発想の平和学園に変わってもらいたくは無いです。平和には平和の顔を持ってもらいたいたい。平和学園の顔が町の顔になり、町の顔が国の顔になる。そう思うのです。「ようしその時には、寄附なんかもうんと奮発して……」などと、少なくとも今は、思ったりするので、諸兄方々は如何に御考えですか。

「でもやっぱり寄附した分だけ、コンクリートが分厚くなるだけかな」、なども思ったりして……

岩倉君は全日空のパイロットです。国内線に乗ったら会えるかも。

44年卒 藤田(柳田)知恵

私は、昭和三十年生れ、住んでいたところが茅ヶ崎市の東海岸だったので、当時、茅ヶ崎小学校のほうに入學していれば、サザン・オールスターズの桑田クンと同級生になれるはずだった。平和学園の小学校で学ん

だことは勉強以外にたくさんあるし、茅小でなく平和にいったことについては、もちろん後悔などしてない。松林を通って海からの風が吹きぬける校庭の、のどかな風景、そして、私たちのクラスは卒業するとき確か十九名くらいだったと思うが、小人数のクラスでみんなのひのびと個性をのばして、とてもすてきな小学校生活を送れたなあと思

っている。ただ、クラスメイトたち、当年とって二十八才にみんななるのだけれど、社会に出て有名になってる人は、今のところ、ゼロである。

私といえば、小学生の頃、みんなでガリ版を切って文集を作り、「将来何になりたいか」という題の作文を、低学年の頃は「ピアニストになりたい」と息まき、六年生の頃には「作家になりたい」と真剣に考えていた。ピアノは小さいころから習っていたのだが、小学校

六年のときに、勉強が忙がしいからといっておけいこをやめてしまい、それきりである。もともと、「作家」のほうは、かなりおとなになるまで本気でなるつもりで、大学も国文学科に進み、マスコミで文章を書く人になりたくて、あちこちの出版社を受けたがどれもだめで、当時女子大生の就職難で流行していた就職浪人をしていくうちに、突然、平凡な生きかたをしたくなって、京橋にある会社のお茶くみOLに転身した。最近私は結婚をして、これから「ただのおばさん」への道を、雪だるま式にころげてゆくのみである。少女のころの ○○ になりたいたい、という夢を、忘れたわけではないけれど。

けれども、無名の、いち市井の人であるということ、は、なんとという平穩無事な生活を私たちに約束してくれているのか。これにまさる平和な人生は、ないのかもしれない。



平和学園で同期だった人たちの中に有名人が出ないのは、みんな、私立育ちの性格の穏やかさから、いまひとつハングリーな気持ちになれなくて、他をおとし、てまで社会に頭角を現わそうとしないからだろうか。けれども、みんなおっとりしているから案外大器晩成型で、平均寿命ものびたことだし、七十才か九十才になって世に出る人もいるかもしれない。そういうおじいさん、もしくはおばあさんが、ふかふかの制服にハトのバッヂをつけて、鼻をたらし遊んでいた頃を自分が知っている、ということ想像すると、ちょっとうれしい気分になってくるのである。

## あ の こ ろ

村松 潔子

(旧職員)

賀川村島記念講堂の壇上の上って、晴れがましく花束などいだけたてしまつて、とても恥しく申しわけないような感じでした。同窓会——恐る恐る見渡したら、ここにこしながら拍手したり手を振ったりしている元生徒達、とたんになつかしきで心が満たされ、あやっほり来てよかったんだと、久しぶりの平和の空気を胸いっぱい吸い込みました。

その中には、私が平和へ来た何十年(?)も前高校三年で、修学旅行の北海道へもいっしょにいったなつかしい顔も、五年前平和を離れた時、小学生だった、体だけは私より大きくなったけどまだ幼なごの残った顔もありました。

はじめて担任をした時四年生だった子供たち——今

はもう平和で四年生になる子供さんのママのやっ子ちゃん、色白の二枚目で映画にも出たトシちゃん、シンボーやマーボーの顔も見えます。このクラスとは本当によく遊んだものでした。鬼ごっこ、なわとび、ドッチボール、お昼休みに散々遊んで、午後の授業は教える方もつらかったものです。放課後男の子たちが野球をやっています。テストの採点をやめて眺めている私(勿論監督しているつもり)チ

ェンジになって円陣を組んで相談が始まりました。先生も入れてやろうよ、女だけどきつとやれるよ、私は有難く外野の守備につかせてもらいました。ここにこして横で見ていたアキラ君がバッテリーボックスに立ちました。交通事故で足の不自由な彼は守備につかず見ているので、「あれっ」と思いました。ピッチャー投げました。アキラ君のふつたバットにボールが当たった瞬間、横にかまえていたタ

カシ君がスタート、一塁にとびこんでセーフです。見事な代走、チームワーク、少しよごれたみんなの笑顔——。本当に楽しかった平和の時代が私の心にもどってきました。新米教師としてのおぼつかない日々を、そっと支えて下さっていた当時の主任の葛生先生にも久しぶりでお目にかかれました。九十才になってなお元氣一ぱいの先生、うれしかったです。いつもは忘れていたけれど、平和での生活を通して私の心がもらったものの大きさをかみしめた一時でした。役員皆さんの御苦勞様、そして今も平和学園を守り育ててくれている方々ががんばって下さいね。

終わりに私の近況ですが、家庭の仕事のあい間に目の不自由な方の為に本を読むボランティアをしています。声を出して正確に本を読むことは難しく、つかえて読みなおしたり字引きで調べたりして読むのです。平

和でもずい分本を読みましたが、今も一生懸命読んでいます。

思い出すままに

大津 雄史  
(旧職員)

先日、久しぶりに、横山先生からお電話を頂きました。例の特徴のある話し方で「まつかぜ」という機関紙を発行するので原稿を書いて欲しい。」とのことでした。本日、創刊号と第二号をお送り頂き、同窓会の連絡誌であることが分かりました。なつかしい先生方や卒業生のお便りを読ませて頂きました。

私は、三十六年から十四年間、平和学園小学校で教師としての勉強をさせて頂きました。現在も教職を続けておりますが、平和で培われたものが私の心の大きな支えとなっていることは事実であります。思い出は、数え切れない程ありますが、心に残って

いる一番大きなものは、病床の村島先生から何回かお話をうかがえたこと。そして先生とのお別れでした。

学校のことで、現在の校舎の設計に横山先生達と参加したこと。あの頃は、松が少なくなっていく淋しさを感じながらも、大きな夢を持ったものでした。それから親子スキー教室を始めたこと。何せ、親子のスキー板と靴を(当時はひもの靴が主体で、じょじょにバンクルに替えていった。)揃えたのですから手入れが大変でした。最初は、当時のご父兄の錦織さん、スクールバスの木村さんと三人で始めました。やがて小林先生(現在高校)が入られ、心強く思ったことでした。横山先生は、技術指導が主でした。樋岡先生は、平和に入られる前に、このスキー教室に参加されたことがあり、これがきっかけとなって平和の先生になつたそうです。私と入れ替わりで平和に入られ、活躍され

ることになります。金管バンドを作ったこと。初めは、トランペット部隊から出発して、「ヤマハ」の先生に指導を受けていました。だんだんと楽器をふやしていき、(PTA)の大きな協力があったのです(現在の樋山先生というすばらしい指導者を武信先生(当時聖書の先生)のご紹介で得ることができました。それに自然教室や横山先生の天文教室、児童のみならず我々教師もいっしょうけんめいでした。現在も、ますます活動が盛んになっています。嬉しく思っています。また、教科の学習面でも、居残り組が毎日のように出て、がんばりました。

しくなっていくようです。もう一つ何かをしていかなくてはいけないのかも知れません。卒業生の皆さんに期待することも大きいと思います。

えらそうなことを述べましたが、平和学園小学校が、新しい校長先生のもとでますます充実、発展されることを心よりお祈りしてペンを置きます。

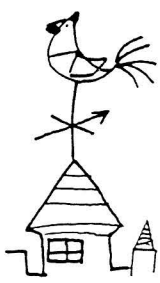
しかし、これからの私学の生きる道は、大へんきび

小学校一年の

あゆみ

八月十五日夜  
九月・運動会 何度も雨で延期しましたが、赤白青の三組にわかれ、応援合戦もにぎやかでした。  
十二月・クリスマス礼拝  
ベツレヘムの夜景を影絵で写し出したページェンが今年の目玉でした。  
二月・スキー教室 体育の山田先生の紹介で、新潟県妙高高原で三泊四日。  
三月・卒業式 十六名のミニクラスは四十八回生十五

人につぐ二番目の記録。二十三年間お勤め下さった三橋先生と山田(三浦)先生が退職なさいました。  
五十八年度 一学期  
四月・入学式 十八名の児童が入学、一年生としては平和はじめての男の先生樋岡先生が担任、又、雨宮、碓井、田巻の三人の先生が入りました。  
四月 プレイデイは今年はじめての試み、親子で体操フォークダンス、手つなぎ鬼等、いい汗をかいたあとはみんなで昼食パーティ。  
五月・自然教室 去年に続いて御殿場東山荘、ハイキングは金時山登山、金時娘と来年を約束して下山。



舞台装置家として有名な妹尾河童さんが、これ又有名な洋酒メーカーの社名をかぶせた「○○○○音楽賞」を受賞した頃の話です。時の人をゲストに迎えるべく早速妹尾家に電話をしたのですが、留守番電話の声がかかるばかり。

当方の出演依頼を口早やに説明はしたものの、当然の如く期待は薄い。「明日から毎日ダイヤルしてみよう」と思っていたその夜、ご本人から電話がかかって来ました。

河童氏は開口一番「ボクはテレビ、ラジオには出たくないんだけど、どんな事を尋くつもり？」「まさか、何故カッパなんて名前をつけたかなんていうんじゃないでしょうね」と凜として仰言る。放送局のディレクターは常に、出演交渉の方法に心を砕き、その成否で番組演出の90%は決まってしまうものだから、それ相応の覚悟は出来ているのですが、これだけハッ

キリ仰言る方も珍らしい。電話を頂戴した感激に浸っている暇もなく頭脳回路をフル回転させ強面の河童さんの、唯一空いている日時を白状させるのに要した時間は、30分でありました。

明日は録音という日、河童サンから二度目の電話がかかりました。河童「明日駄目になりそうなんだ。実は風邪をひ

### カゼと河童と鬼の関係

酒井 邦子

(三十年度卒三十八回生)

いってしまったて凄く高熱で(と)言ってひどく咳込む)」。私「エーッノ(絶句)

河童「でも医者薬で熱は下がると思うけど」。私「デモ明日以外、オ

暇カナイノデハ」。河童「...ウーン、明日電

話してみてください」。私「ハイ。...トニカク

オダイジニ」とは言っただけのもの、こちらの落胆と

焦りは隠しきれず、充分にソレは伝わっていた様子で、次の日は、強力な咳止めを持参してスタジオ入りをしてくれました。ご病気の間に相済みませんとインタビューアと二人で謝ると、河童氏曰ク「このヒトにかかったら流石のボクもかないません」。

実感がこもっていましたが、そこで弱気になっては元も

子もなくすとばかり、心の中河童大明神に手を合わせ録音開始。

一日8分間のインタビューを月曜日放送分、火曜日分...と進んだ頃、インタヴ

ューア氏がまっ青な顔でガラス窓の向う側からなにやら合図を送ってくるのです。

録音を一時ストップしてスタジオに駆け込むと冷や汗をふきながら、お腹をお

さえてしゃがみこむインタビューア氏を、病人の河童氏が心配そうにのぞきこみ、「きょうの録音はこれでやめた方が良さそうだね」とやや無然たる発言。さすがの私も目の前がまっ暗になりました。

が、インタビューア氏もプロですから、この日を逃したら放送に穴があいてしま

う事も先刻承知の人。トイレに暫くこもった後、録音続行し顔色は青ざめたまま

で無事終了しました。

一ヶ月後、別の番組にゲスト出演した妹尾河童サンに、インタビューア氏と私

二人で先日のお詫びがてらご挨拶をしに行つたのです

が、我々がそのスタジオを出た途端、河童サンはポツリと「あのトトは鬼のディレクターですね」と仰言

た由。以来私は仲間たちに、別名で呼ばれることが多いの



### PTAOB同窓会の お知らせ

今年全校同窓会が開かれたのにならって、お父さんお母さんの同窓会もやろうじゃないかということで、今準備しています。十一月十三日(日)十二時から、場所は小学校で。会費は昼食つき千五百円という事です。同封のハガキで申し込んで下さい。

### 編集後記

全学園同窓会が開かれた。おかげで三十年ぶりという人に沢山逢いました。いい年をしたオゾンオパンがクンちゃん、ノリ子ちゃんと子どもの時の呼び名で話しているのも平和らしいです。

今年の運動会は十月一日、音楽会は十月二十一日(土)、午後はバザー。おかげさまで、入学志願者が増えて喜んでます。またPRをよろしくお願いします。(横山)